

忙しくなる時期ですが…

# ゆとりを持った運転を！

◎問い合わせ 防災危機管理課 消防交通係 ☎37-0104

今年ももう12月、師走です。仕事もプライベートも何かと忙しくなる時期です。忙しい時期だからこそ、ゆとりを持った運転をすることが大切です。

## 市内の交通事故の現状 ～発生率県内ワースト1～

### ○交通事故発生市町ランキング（発生地別）

ワースト順位	H26	H27	H28	H29	H30. 9月末時点
1	江北町(14.1)	江北町(13.0)	吉野ヶ里町(13.2)	神崎市(12.0)	神崎市(6.8)
2	吉野ヶ里町(13.6)	佐賀市(12.5)	神崎市(12.9)	吉野ヶ里町(11.3)	大町町(6.6)
3	佐賀市(13.1)	鳥栖市(12.0)	佐賀市(11.5)	江北町(10.6)	小城市(6.5)
4	神崎市(12.3)	神崎市(11.8)	江北町(11.2)	小城市(10.1)	佐賀市(6.0)
5	小城市(11.9)	吉野ヶ里町(11.7)	上峰町(10.7)	佐賀市(9.7)	吉野ヶ里町(6.0)

▲表の（ ）内の数字は、人口千人あたりの発生件数

### ○交通事故発生市町ランキング（居住地別） ※県内発生的人身事故のうち、第1当事者の居住地を出したもの

ワースト順位	H26	H27	H28	H29	H30. 9月末時点
1	江北町(11.0)	江北町(11.6)	大町町(11.7)	吉野ヶ里町(9.9)	神崎市(5.6)
2	小城市(11.0)	白石町(11.0)	神崎市(10.1)	神崎市(9.7)	小城市(5.5)
3	白石町(11.0)	小城市(10.9)	白石町(9.6)	大町町(9.3)	多久市(5.4)
4	佐賀市(10.6)	大町町(10.2)	上峰町(9.5)	小城市(9.0)	佐賀市(5.0)
5	神崎市(10.4)	佐賀市(10.1)	佐賀市(9.4)	白石町(8.2)	大町町(4.8)

※神崎市6位

▲表の（ ）内の数字は、人口千人あたりの発生件数

## 神埼警察署から

### 交通事故現状

都道府県別の事故発生率では、平成24年から28年はワースト1位、平成29年はワースト2位であり、佐賀県は事故の多い県となっています。市町別の今年の1月から9月末までの交通事故発生市町（発生地別）は、神崎市が昨年に引き続きワースト1位となっています。

また、同9月末までの県内で発生した人身事故のうち、第1当事者の居住地でも、神崎市がワースト1位となっています。

警察署では、事故の多い場所での取り締まりのほか、交通安全協会や企業、市などと協力して交通安全対策を実施しています。

### 交通事故の発生原因

事故の発生原因は、半分以上が追突事故であり、全国平均を上回っています。追突事故防止のため、「みつつの3運動」に取り組んでいます。

### 早めのライト点灯

冬は日没の時間が早く、暗くなり始める時間帯に、帰宅や生徒の下校が重なります。子どもの下校中の事故も多い時期です。暗くなり始める前に、車のライトを点灯することが、交通事故防止につながります。

また、歩行者の交通死亡事故の多くが夜間に発生し、事故を起こした車のほとんどがロービーム（下向き）で走行しています。基本はハイビーム（上向き）で走行し、交通量の多い市街地を走行するときや、前走車がいるとき、対向車と行き違うときにロービームで走行しましょう。

### みつつの3運動

#### ①3秒間の車間距離確保

前の車との距離を3秒間とりましょう！

#### ②3秒30メートルルールの徹底

進路変更は3秒前、右左折は30メートル手前で方向指示器を作動させ、後続車に知らせましょう！

#### ③3分前の出発

早めに出発してゆとりのある運転をしましょう！

半分以上が追突事故

# 市内の交通安全対策

## 交通安全教室

毎年市内の小学生や保育園児を対象に交通安全教室を開催しています。交通指導員や警察などから、横断歩道の歩き方や自転車に乗るとききの安全確認などを教えています。



## 自転車安全利用推進キャンペーン

神埼駅周辺で、警察や交通安全協会、神埼高校、神埼清明高校、市が協力して、自転車利用時の安全について呼びかけを実施しています。今年度は反射材などを配布して、注意を呼びかけました。



## 前を34(見よ)作戦

県内各地の国道34号線沿いで、追突事故ゼロを目指して「前を34(見よ)作戦」を実施しています。市内でも警察や交通安全協会、企業などが協力し、のぼり旗を掲げ、交通安全の啓発をしています。



神埼橋から神埼警察署前



上犬童交差点付近



駅通り交差点付近

## 飲酒運転は「しない させない」

年末年始は忘年会や新年会など、お酒を飲む機会が多い時期でもあります。飲酒運転は失うものしかなく、得られるものは何ともありません。

自分が飲酒運転をしなくても、

- ・ 飲酒している人に車を貸す行為
  - ・ これから運転する人にお酒を出す行為
  - ・ 飲酒運転する人の車に乗る行為
- を行った人にも厳しい処罰が科せられます。

## 飲酒運転四(し)ない運動

- ① 運転するなら酒を飲まない
- ② 酒を飲んだら運転しない
- ③ 運転する人に酒をすすめない
- ④ 酒を飲んだ人に運転をさせない

県内の交通事故が多発する主要道路で、直進と右折のレーンを色分けするカラー舗装が進んでいます。事故件数が4割程度減少したとの調査結果もあります。交通事故が多発する交差点での事故減少が期待されます。

一人ひとりの安全運転に対する意識の向上により、交通事故は減ります。ゆとりを持った運転を心がけ、誰も悲しませないようにしましょう。

《市長の部屋》

# 新年度に向けた予算編成に思うこと

来年4月から始まる新年度予算の編成については、既に先月から担当所管課において、事業取組の検討やその実施に当たった諸経費の積算等に努めています。

市全体における財政状況については、先月の市報11月号で「財政事情公表」の平成29年度決算の状況および平成30年度予算の状況としてお知らせしているとおります。29年度決算において、歳入の地方税は微増となったものの普通交付税の減少によって、一般財源の総額は8千万円ほど減少しています。なお、自主財源率は30%を割り込んでしまい、依存財源率が70・6%を占める状況にあります。

一方、歳出は総額167億円を超え、前年比で22億円増の決算規模となりました。結果として、経常収支比率91・3%、実質公債費比率11・3%となり、若干の改善を見る事ができましたが、一般会計における起債（借金）残高は

155・6億円、基金（貯金）の財政調整基金と減債基金の残高は32億円程度となっています。

さて、本市の人口減少は止まらずに、ますます少子高齢は進み、地域の活力低下、担い手不足による地域の持続的・社会活動への支障が危惧されることは、先月号の「市長の部屋」を参照いただければと思います。

このような現実の実態を踏まえながらも、今年3月に『第2次神埼市総合計画』を策定いたしました。「幸せつなごうかんざき」みんなで支え合い、誇りと笑顔あふれるまちを目指して「を」を将来像としたまちづくりを努めてまいります。現に、担当所管課では、総合計画に基づく実施計画を練りあげてきています。来年度は、全職員が心を一にしてこの実現に向けた事務事業に取り組んで参ります。みなさんにはお知らせしてきたことですが、平成28年度以降は、合併優遇（合併算定替）期間が終了し、来年度は普通交付税額が2億円程度縮減されるな

ど、一般財源の総額は減少するものと見込んでおります。しかし、歳出面では、社会保障関連経費、地方創生施策への取組経費、農業基盤整備促進事業や継続する大型事業（新庁舎建設、脊振町複合施設、葬祭公園建設）など、増加することは必定です。このため、基金からの繰り入れを図りながら、出来得る限りの節減に努めてまいります。



▲新庁舎の基礎杭施工

先にも述べましたが、これまでの事業進捗状況を踏まえ、多様な市民ニーズに応えながら、市民との協働や地方創生関係事業に取り組み、将来像として掲げる「幸せつなごうかんざき」を実現するために、来年度の予算編成に当たっては、将来の財政負担にも十分に配慮しながら、徹底したコスト意識を啓発し、特に次の点に留意して編成に臨んでまいります。

- ① 施策・事業の重点化と事業の選択と集中  
限られた財源をもって効率
- ② 国などの制度変更への的確な対応  
国や県の重点的取組における制度の設置やその変更については、迅速な情報把握に務め、的確な対応を行い、最大の有利な活用を図る。
- ③ 事務事業の効率化など  
通常業務においても前例踏襲の固定観念にとらわれることなく、効率かつ効果的な遂行を図るため、事務事業の対象、目的、効果をしっかりと把握する。また、民間をも含めた市民協働の考えを徹底する。



▲農業基盤整備促進事業（水路工事施工後）

神埼市長

松本 茂幸

## 市長交際費の公表 (平成30年10月分)

項目	件数	支出額 (円)
弔慰	1	16,200
御祝	12	36,000
激励	0	0
会費	0	0
見舞い	0	0
その他	4	22,780
計	17	74,980

## 夜の市長室

○今後の予定

とき	ところ
12月11日(火)	千代田支所
1月8日(火)	脊振支所

18:00 ~ 20:00 (1組30分程度)  
当日は来庁順です。

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088

どんなことでも構いません。  
皆さまの声をお聞かせください!

11月の神埼市役所開催分には、5組12人が来庁されました。

※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。

※市報11月号でお知らせした日程から変更になっています。